



磐田市立 豊田中学校  
第1学年だより  
No.34  
平成29年11月24日発行

11/16 (木) 期末テストへの取り組みは、いかがだったでしょうか。



## 実りの秋でした。 節の目標「学び・充実」を目指しています。

2学期中間テストの結果を掲載した学年だよりには、以下の文面を掲載しました。

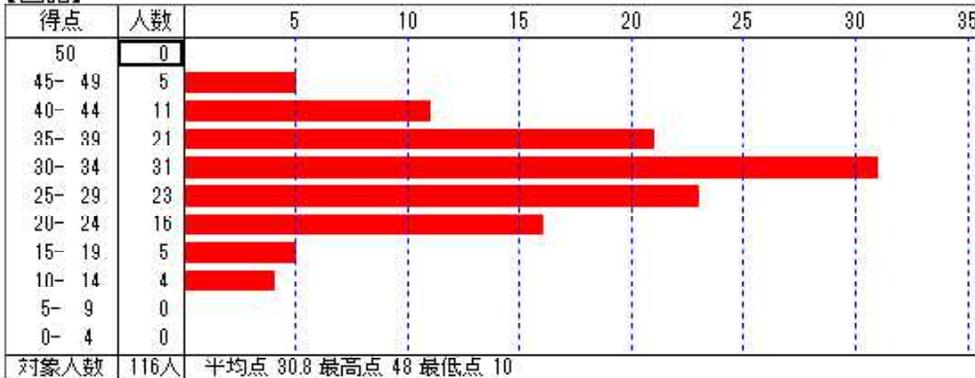
さて、「これからの自分」をどのようにイメージしていますか。テスト計画表を上達させる、学習のサイクル「予習・授業・復習」を充実させる、もっと丁寧に家庭学習を進める、自主勉強にチャレンジする、提出すべき規定ページに「+α」する、一度だけ学習して終了しないで反復して繰り返す、等。懸命な取り組みは、きっと期末テストを成功に導いてくれます。

期末テストに向けて、いかがだったでしょうか。また、再度、「これからの自分」をイメージしてみることを勧めます。お子さんが、やる気になって何かをやり始めようとするときには、自分でスタートラインを引き、自分でそのラインをまたぎます。こんなお子さんを応援しましょう。以下、度数分布表を掲載しました。

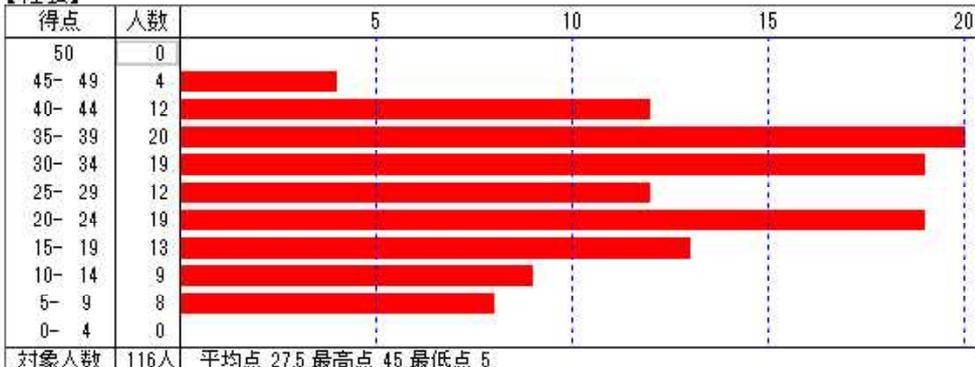
学力診断調査は、1月11日(木)です。学年末テストは、2月15日(木)です。来月から完全下校時刻は、16:30です。

**裏面、教科担任からのコメント掲載。お子さんが自分を成長させるヒントになります。**

### 【国語】



### 【社会】



【数学】

得点	人数	5	10	15	20
50	1				
45- 49	16	[Red bar]			
40- 44	15	[Red bar]			
35- 39	18	[Red bar]			
30- 34	14	[Red bar]			
25- 29	11	[Red bar]			
20- 24	7	[Red bar]			
15- 19	20	[Red bar]			
10- 14	6	[Red bar]			
5- 9	6	[Red bar]			
0- 4	2	[Red bar]			
対象人数	116人	平均点 29.9 最高点 50 最低点 3			

【理科】

得点	人数	5	10	15	20	25
50	0					
45- 49	2	[Red bar]				
40- 44	12	[Red bar]				
35- 39	20	[Red bar]				
30- 34	23	[Red bar]				
25- 29	14	[Red bar]				
20- 24	16	[Red bar]				
15- 19	12	[Red bar]				
10- 14	11	[Red bar]				
5- 9	6	[Red bar]				
0- 4	0					
対象人数	116人	平均点 27.2 最高点 45 最低点 5				

【英語】

得点	人数	5	10	15	20	25
50	3	[Red bar]				
45- 49	6	[Red bar]				
40- 44	8	[Red bar]				
35- 39	13	[Red bar]				
30- 34	12	[Red bar]				
25- 29	22	[Red bar]				
20- 24	16	[Red bar]				
15- 19	13	[Red bar]				
10- 14	16	[Red bar]				
5- 9	5	[Red bar]				
0- 4	2	[Red bar]				
対象人数	116人	平均点 26.0 最高点 50 最低点 1				

【5教科】

得点	人数	5	10	15	20	25	30	35	
250	0								
225- 249	3	[Red bar]							
200- 224	11	[Red bar]							
175- 199	13	[Red bar]							
150- 174	33	[Red bar]							
125- 149	11	[Red bar]							
100- 124	19	[Red bar]							
75- 99	15	[Red bar]							
50- 74	8	[Red bar]							
25- 49	3	[Red bar]							
0- 24	0								
対象人数	116人	平均点 141.4 最高点 227 最低点 32							

**【国語】**言語に関する知識・理解を問う問題を多く出題しました。漢字問題に全問正解できましたか。漢字帳にただ作業的に書いているだけでは、漢字は身に付きません。答えを隠しながら『**自分は本当に何も見ずに、漢字を読んだり書いたりできるか**』確認する必要があります。漢字の練習を、大切にしてください。

物語文、説明文ともに読み取ることができました。今後、気をつける点は、「**答え方**」です。例えば、理由を問う問題に対して、解答の文末に「**から・ため**」をつけていないような表現上の誤答を減らしましょう。また、記述問題では、伝えたい内容はなんとなく分かるが、書いた言葉が不適切だったための誤答もありました。例えば、「減った」と「減っている」では受け取り方が違います。国語科は、日本語を学習する教科です。自分が伝えたい内容が、その言葉で「**正しく**」伝わるのか、注意しましょう。

**【社会】**中間テストのテスト結果を受け止めて、期末テストに励んだ生徒が多数いました。例えば、40点以上の生徒が2倍増加し、20点未満の生徒も4割減少しました。ただ、漢字を書き損なった誤答が目立ちました。例…輸出、朝廷、イスラム教徒、法隆寺

《**地理・歴史**》地理では、州のプリントをきちんと復習できていました。自然地名、国名、雨温図、重要語句などを地理ワークや学習診断プリントで確認できていました。歴史でも、年表、地図、外国との関わり、他の時代との比較、各種資料の読み取りなどを歴史ワークや学習診断プリントで確認できていました。地理・歴史とも、授業プリントの復習が不足していたようでした。

《**復習問題**》2学期中間テストからの出題でした。平均点は「3.5/6点」でした。正答率が前回より上昇しています。学習内容を定着させる習慣ができつつあります。

《**その他**》①地理・歴史ワークの事前提出者、のべ113名(前回比32名増)。②自主勉強ノート提出者25名(同、10名減)、最高37ページ(同、18ページ増)。③鎌倉仏教自主暗記の合格者、37名。家庭学習を充実させています。

**【数学】**全体としては、復習ノートを活用してテスト勉強をがんばっていました。しかし、ポイントを増やすことだけを考え、復習内容を十分に定着させることができなかつたことも確かです。例えば、①計算過程を書かず正答だけを丸写ししている。②テスト範囲ではない、安易な問題を解いている。③テスト対策としての復習ノート用プリントに取り組まないなど、テスト勉強とは言い難い学習が目立ちました。

テストでは、①マイナスの付け忘れ、②比例定数を算出できているのに、 $x$ の付け忘れ、③表は正解なのに、グラフの描き忘れ、④番号の付け忘れなど、注意不足による誤答が多くありました。また、計算問題の正答率は高かったのですが、身の回りの問題や、応用力を要する問題が出来ませんでした。方程式の利用問題では、約3分の1程度の正答率でした。

1月の学力診断調査に向けて、復習ノート用プリントを用意しました。自分だけの実力できちんと解く。解けなかった問題は、求め方・解説をしっかりと読んで解き方を理解する等、本当に自分の実力となるような学習を心掛けてほしいと思います。

**【理科】**全体としては、みんな勉強している様でした。用語などは高い正答率だったのが、それを物語っています。しかし、「勉強した」から「定着した」の点では、今一歩です。計算問題はワークからの出題でしたが、正答率は高くありません。テスト勉強で間違えた場合、自分の力で解けるように解き直しましたか？正答を書き写しただけではありませんか？また、実験方法などを問われている問題では、細かなニュアンスを表現するために答え方を覚える必要もあります。授業で強調されていますので、ポイントを押さえる工夫もしましょう。

**【英語】**《**放送問題**》今回は絵について考える問題1問、残りは学力診断調査に出題されるような、必要な部分だけを聞き取り、日本語で答える問題、英問英答問題などを出題しました。難しかったかもしれませんが、ポイントだけを聞き取ることができる力は、大切です。

《**表現の問題**》前回までのテストと同じように、対話形式として、普段皆さんが話しているような文に日本語の訳を入れて、その日本語に最も適切な英語表現で解答する問題、自分が好きな有名人について書く問題を出題しました。スペルミスが多くありました。日頃から英単語を書く練習をしていますか？今後は名詞もたくさん覚えていくことが必要です。

また、一番の課題は、英語(外国語)と日本語の大きな違いです。日本では、時間を24時間単位で表現でき、「午後」を使わなくても通じます。しかし、英語ではどうでしょうか？1~12だけの数字を使うので、am・pmで表現することを授業で説明しました。誤答の多くは、ある程度は理解しているのに、時刻の表記を間違えてしまったことでした。是非、日頃から英語と日本語の違いを意識してみるといいかなと思います。